



墨東化成工業  
代表取締役社長

## 老田 勝氏

# 調達考<sup>2</sup>

(東京都墨田区)の老田勝代表取締役社長はそう話す。時間外労働規制や物価上昇への対応に追われる工務会社を、調達のパートナーである商社はどう支えるのか。資材の予約・注文のデジタル化や価格転嫁への対応など、変化を遂げつつある調達の現在を老田社長に聞いた。

「問い合わせを受けて、それに応えるのが商社の本質」。

舗装材を中心に幅広い資材を扱う墨東化成工業

「調達取引のデジタル化をどう進める。」

「建材店・プラントの検索や資材の予約、注文ができる独自のアプリを開発し、昨年4月に運用を始めた。掛け売りなど従来の取引形態を可能とするため、現在のところ利用は取引先に限定している」

「開発の狙いは、取引先の工務会社からの、営業時間外の問い合わせに柔軟に対応できるようにすることだ。現場に入ってから、資材を取りに行く先を急ぎよめる場合も少なくない。」

「現場から近いところで利用者の反応は。」

「現場から近いところで」

「顧客である工務会社からは、商社がまとめて資材を仕入れ、価格を抑えることが期待されている。公共工事では物価に応じて価格を見直してくれることもありますが、民間工事はそうはいかず、『請け負け』になっ

「建材店の営業時間など」

「顧客である工務会社からは、商社がまとめて資材を仕入れ、価格を抑えることが期待されている。公共工事では物価に応じて価格を見直してくれることもありますが、民間工事はそうはいかず、『請け負け』になっ

「建材店の営業時間など」

「顧客である工務会社からは、商社がまとめて資材を仕入れ、価格を抑えることが期待されている。公共工事では物価に応じて価格を見直してくれることもありますが、民間工事はそうはいかず、『請け負け』になっ

「建材店の営業時間など」

# 商社がアプリを開発

## 変化遂げる資材調達

「現場から近いところで」

「現場から近いところで」

「現場から近いところで」

「4月からは運輸分野でも時間外労働規制が適用される。物流コストの転嫁はこれからだ。ドライバーの労働時間が制約されれば、運べる荷物の量が減る。単価を上げざるを得ず、きちんと値段を上げてくれる荷主が優先されるようになる。そういうコストをきちんと見ると、調達力に影響してくる」

「現場から近いところで」

「現場から近いところで」

墨東化成工業 1910年創業。舗装材などの資材を扱う商社であり、常温アスファルト合材を製造するメーカーでもある。22年に資材調達支援アプリ「BK Navi (ボクナビ)」を開発。利用者は取引先に限定しており、今年1月時点のユーザーは約70社。